

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年11月14日

【四半期会計期間】 第7期第3四半期(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

【会社名】 gooddaysホールディングス株式会社

【英訳名】 gooddays holdings, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小倉 博

【本店の所在の場所】 東京都千代田区有楽町二丁目10番1号
(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。)

【電話番号】 03-5781-9070(代表)

【事務連絡者氏名】 グループ経理財務部長 小室 佑介

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区北品川一丁目23-19

【電話番号】 03-5781-9070(代表)

【事務連絡者氏名】 グループ経理財務部長 小室 佑介

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2022年2月14日に提出いたしました第7期第3四半期（自 2021年10月1日 至 2021年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

- 第一部 企業情報
 - 第4 経理の状況
 - 1 四半期連結財務諸表等
 - 注記事項
 - (セグメント情報等)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

- 注記事項
 - (セグメント情報等)

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	IT	暮らしTech	計		
売上高					
請負	826,795		826,795		826,795
SEサービス (SES)	1,382,181		1,382,181		1,382,181
物販	110,470		110,470		110,470
リノベーション		1,492,301	1,492,301		1,492,301
不動産仲介		86,504	86,504		86,504
オペレーション (GOOD OFFICE他)		373,494	373,494		373,494
メディア (goodroom)		112,426	112,426		112,426
その他		18,269	18,269		18,269
顧客との契約から生じる 収益	2,319,447	2,082,996	4,402,444		4,402,444
外部顧客への売上高	2,319,447	2,082,996	4,402,444		4,402,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,492	46,139	69,631	69,631	
計	2,342,940	2,129,136	4,472,076	69,631	4,402,444
セグメント利益	213,776	10,144	223,920	29,255	253,175

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,040千円、グループ会社からの経営指導料327,600千円及び各セグメントに分配していない全社費用 299,385千円が含まれております。全社費用は主に本社管理部門に対する一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 報告セグメントの変更等に関する事項
- 会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に変更しております。
- 当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「IT」の売上高は41,174千円減少しておりますが、売上原価も41,174千円減少したため、セグメント利益に与える影響はありません。

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	IT	暮らしTech	計		
売上高					
請負	826,795		826,795		826,795
SEサービス (SES)	1,382,181		1,382,181		1,382,181
物販	110,470		110,470		110,470
リノベーション		1,492,301	1,492,301		1,492,301
不動産仲介		86,504	86,504		86,504
オペレーション (GOOD OFFICE他)		69,189	69,189		69,189
メディア (goodroom)		112,426	112,426		112,426
その他		18,269	18,269		18,269
顧客との契約から生じる 収益	2,319,447	1,778,692	4,098,139		4,098,139
その他の収益 (注) 4	—	304,304	304,304	—	304,304
外部顧客への売上高	2,319,447	2,082,996	4,402,444		4,402,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,492	46,139	69,631	69,631	
計	2,342,940	2,129,136	4,472,076	69,631	4,402,444
セグメント利益	213,776	10,144	223,920	29,255	253,175

(注) 1 . セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,040千円、グループ会社からの経営指導料327,600千円及び各セグメントに分配していない全社費用 299,385千円が含まれております。全社費用は主に本社管理部門に対する一般管理費であります。

2 . セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 . 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「IT」の売上高は41,174千円減少しておりますが、売上原価も41,174千円減少したため、セグメント利益に与える影響はありません。

4 . その他の収益はすべてオペレーション (GOOD OFFICE他) に対する収益であり、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。